

**令和2年度12月
一般社団法人大阪臨床整形外科医会理事会議事録**

日 時 : 令和2年12月5日(土) 15:00~18:00

開催方式 : Zoom 使用によるリモート会議

参加者

会 長 : 長谷川利雄 会長代行 : 藤本啓治

副会長 : 小林正之 白木隆士 木下裕介 堀口泰輔

理 事 : 明石健一 上野憲司 榎本 誠 大窪 博 大成浩征 荻野 晃 片岡英一郎
貴島浩二 岸本成人 岸本英樹 小坂理也 清水広太 神藤佳孝 調子和則
中川浩彰 中野晋吾 邊見俊一 前中孝文 増田 博 宮口正継 宮崎 浩
宮島茂夫 宮田重樹 森下 忍 森本清一 矢倉久義 山口眞一 山本善哉
山本 哲 梁 裕昭 吉村弘治 和田孝彦

監 事 : 栗本一孝 黒田晃司 理事会・常任理事会オブザーバー : 右近良治

特別出席者 : 石井正治 早石雅宥 (敬称略)

[協議事項]

1、令和2年9月 OCOA 議事録承認

中野理事

令和2年9月5日 OCOA 理事会議事録が提示され、承認された。

2、研修会実施予定

堀口理事

『WEB で講演を聴講できない会員のために WEB+サテライト会場 (e-test 施行) における研修会を計画している。12月26日の研修会は、試験的に OCOA 理事と役員のみサテライト会場で聴講する予定である。』ことと、以下の研修会予定が承認された(敬称略)。

12月26日(土) 特別研修会(大正製薬) WEB サテライト会場: TKP 貸会議室

演題1 座長: 右近 良治 演題2 座長: 宮田 重樹

1月16日(土) 第336回研修会(日本臓器) WEB サテライト会場: 自社関連ホール

演題1 座長: 貴島 浩二 演題2 座長: 宮口 正継

2月20日(土) 第337回研修会(科研製薬) WEB サテライト会場: TKP 貸会議室

演題1 座長: 大成 浩征 演題2 座長: 中野 晋吾

3月27日(土) 第338回研修会(中外製薬) WEB サテライト会場: ANA クラウン大阪

演題1 座長: 明石 健一 演題2 座長: 矢倉 久義

4月3日(土) 特別研修会(アッヴィ合同) WEB

演題1 座長: 小坂 理也 演題2 座長: 邊見 俊一

4月10日(土)大正製薬 WEB 研修会 サテライト会場:ANA クラウンプラザホテル大阪
演題1 座長:岸本 英樹 演題2 座長:梁 裕昭
以後、令和2年5月以降の研修会日程が提示された。

3、Web 研修会におけるアナライザー費用として支払われる

座長謝金の処理について(案) 木下副会長、長谷川会長

『Web 研修会におけるアナライザー費用として支払われる座長謝金について、座長50%、
COOAへ還元50%、別途交通費を支給なしとする。』ことが承認された。

4、Web 研修会開催に当たりその一連の業務に携わった理事に対する

費用弁償について(案) 木下副会長

『令和2年9月19日より開催しているWEB 研修会について業務に携わった理事に対し1
研修会につき5,000円の費用弁償を行うものとする。なお、この業務に携わる理事は、学
術担当副会長の推薦により、会長が指名する。』ことが承認された。

5、一般社団法人大阪臨床整形外科医会費用弁償規則について(案)

木下副会長

上記の協議事項4の承認により、一般社団法人大阪臨床整形外科医会費用弁償
規則の改定案(下記の通り)が承認された。

一般社団法人大阪臨床整形外科医会費用弁償規則

附則 令和2年12月5日改定

WEB 研修会

WEB 研修会開催にあたり、案内の作成・受講希望される先生のデータ収集や集計・受講さ
れる先生への受講方法の案内・受講料の入金確認・不備のあった先生への連絡・受講後単
位の申請など、この一連の業務に携わった理事に対し1研修会につき5,000円の費用弁償
を行うものとし、令和2年9月19日以後のWEB 研修会より適応する。なおこの業務に携
わる理事については、学術担当副会長の推薦により、会長が指名する。

6、令和3年度予算編成について

木下副会長

令和2年度の収支予想、予算決算比較表が提示され、令和3年度予算編成について協議
された(テニス部予算不変、開業セミナー予算計上、Zoom 理事会予算計上含む)。

白木副会長より zoom 使用料の予算請求があり、盛り込んだ上で承認された。

7、新入会について

白木副会長

尾松徳則先生（尾松医院、池田市）の入会が承認された。

8、協会健保からの依頼について

藤本副会長

OCOA ホームページに柔道整復師による施術、はり灸・あんま・マッサージの施術に関するパンフレットを記載することについて協会健保から依頼があった。記載内容について継続審議となった。

9、近畿ブロック災害対策研修会について

神藤理事

OCOA 主催、近畿ブロック COA 共催、令和 3 年 9 月オンライン研修会。
開催責任者は小林正之副会長、予算 20 万（うち OCOA10 万）の予定。
以上、担当理事の提案通り承認された。

10、整形外科新規開業者講習会について

邊見理事

今後も入会者を増やすため、新規開業を予定している病院勤務医及び新規開業医に対し、OCOA 主催で事務的及びコンサル内容的研修会を開催したい（予算 10 万円）。
以上、担当理事の提案通り承認された。

11、令和 3 年度 OCOA 会報第 47 号の広告協賛、趣意書について

宮崎理事

趣意書・お礼状（OCOA 会報 47 号は宮崎理事、OCOA 名簿は岸本(英)理事が担当）案、が提示され担当理事の提案通り承認された。

12、令和 3 年度 OCOA 名簿の広告協賛 趣意書について

宮崎理事

担当理事の提案通り承認された。

13、レジメ委員会

中野理事

12 月 28 日（月）20:00 から、Web にて開催予定。
令和 2 年度各種委員会と出務状況、府医プロジェクト委員会、広報事業令和 2 年度大阪府「骨と関節の日」行事報告<その他イベント>について報告するように依頼。

14、その他

長谷川会長

全国健保連大阪支部審査医師について、会長から明石健一先生が推薦され、承認された。

[報告事項]

1、会員動態（前回の理事会以降）

白木副会長

令和2年9月以降の会員動態が報告された。

会員数 537 名（JCOA 名誉会員が計 7 名） 正会員 511 名

特別会員 9 名 顧問(現役教授)7 名 特別顧問 1 名 名誉顧問(元教授等)10 名

新入会 1 名 森本 時光 先生 令和2年9月14日 入会 西成区 阪大医局

退会 4 名 黒岩 良昭 先生 平成30年1月24日 ご逝去(会費未納で判明)

加藤 勇司 先生 令和2年10月20日 個人的事情

中田 信昭 先生 令和2年10月20日 他府県へ転勤のため

上辻 治夫 先生 令和2年11月26日 高齢のため

2、令和2年度 大阪府医師会学術講演会の案内

長谷川会長

大阪府医師会学術講演会（令和3年1月21日（木）14：00～）

「日常診療における足の痛み」大阪医科大学 看護学部 教授 安田稔人 先生

3、令和2年度大阪府医師会医学会「医学研究奨励費」の案内 長谷川会長

令和2年度 大阪府医師会医学会「医学研究奨励費」助成研究公募要領の案内。

1件につき概ね10万円の助成。大阪府医師会学術課に令和3年1月31日必着。

4、日本整形外科学会理事会報告（令和元年／2年度）

長谷川会長

1. 役員交代 理事長には松本守雄先生（慶応大学）が選定された。

JCOA から原田昭先生（広島）が初めて副理事長に選定された。

2. 運動器疾患の手術症例を登録する、症例データベース（JOANR）が稼働開始した。

3. 定款等の改正 理事定数の上限値を25名以内（増員）する。

理事長は就任後から2期を限度に理事を再任することが可能。

4. 男女共同参画 医学部卒業生の約40%が女性、日整会会員の女性の割合は6.3%。

女性医師から選ばれるような科になるべく取り組みを行っている。

5. 専門医制度 2020年専門研修プログラム専攻医の登録数は約600名と大幅に増加。

6. 医師の働き方改革 「整形外科医師の就業状況と健康に関する調査」が実施され、

現状の問題点と今後の対応が報告された。

7. ロコモティブシンドローム(以下、ロコモ)啓発に関する方針の軌道修正について

今年度より高齢者のフレイル検診が始まるため、「フレイルとロコモが確執なく手を
取り合って国民の健康寿命延伸に対して逼進する」ということになった。

8. 第 93 回日整会学術総会がオンラインにて開催。不正受講もありその処分を検討。
9. 小児運動器疾患指導管理料が、運動器疾患では初めて導入された。

5、大阪府医師会医会連合代表者会議報告 11/6・大阪 長谷川会長

新型コロナウイルスの流行状況を踏まえて、オンライン診療についての方向性が決定し
た。一方で、その安全性と信頼性は十分に検証するべきで、オンライン診療、特にオンラ
イン初診については慎重であるべきであるとの意見があった。

6、JCOA 第 1 回学術委員会 9/16-18・mail 堀口副会長

平成 30 年度研究助成研究者の収支報告書について、下記の疑義を指摘され、報告書を
各委員が確認し、メールにて意見の集約を行なった。

1. 他誌への論文掲載料や英文校正料が計上されている。
2. 研究終了間際に、OA 機器、リハビリ機器、トナー、書籍などを購入されている。

7、JCOA 第 2 回学術委員会 10/5-9・mail 堀口副会長

平成 30 年度研究助成の研究者に対して下記について委員会から説明を求め、研究者か
ら回答を得て、各委員が確認した後に意見を出した。

1. 本研究課題について、日本臨床整形外科学会雑誌には必ず投稿することを求める。
2. 学術研究助成全体について、今後必要と思われる対応について、申請書や報告書の書
式の改訂、申請時に研究費使用上の注意喚起をあらためて行う。運動器保存療法などの
JCOA にとって重要なエビデンス構築に必要なテーマを作成して研究課題を募集する。

8、第 76 回 JCOA 近畿ブロック会 11/7・WEB 堀口副会長

・令和 2 年度 第 1 回自賠労災委員会報告

岩田啓史先生が委員長に再任。労災診療改定が行われ社会復帰支援指導料（130点）が
新設。コンピュータ断層診断の特例（225点）が1回に限り再診時にも算定可能となった。

・近畿ブロック会議代表者会議議事録（大阪 貴島浩二）

- 1) 次回以降の近畿ブロック担当の学術集会は、各府県単独開催とする。
- 2) 大阪万博のため次回近畿ブロック開催年を、2025 年から2026 年に変更する。
- 3) 開催順は、従来どおり兵庫→和歌山→大阪→京都→滋賀→奈良とする。

・第 3 回会員基本データ調査ご協力のご願い（大阪 調子和則）

現在大阪の回答率は69.6%であり、臨床整形外科医師の実態を正確に各方面に伝える上で重要なものなので、さらに回答率を上げてほしい。

9、令和2年度JCOA保険審査委員会会議報告 9/29・WEB 神藤理事
救急管理加算、検査、処方、リハビリ、処置、手術審査など（資料参照）を審議

10、令和2年度全国整形外科保険審査委員会会議報告 9/13・WEB 神藤理事
第1部（手術、リハビリ）第2部（医学管理、検査、投薬等）（資料参照）を審議

11、令和2年度第2回災害医療チーム検討委員会 11/26・T.V. 神藤理事
迅速な災害地支援を目指したブロック協力として、各ブロックでの定期的な会議開催やブロック単位での研修会実施をおこなっていく。

12、令和2年度第2回総務委員会 9/14・T.V 邊見理事
会報第27号（第33回学術集会・愛知）の内容、JCOA ニュースへのアンケート報告の掲載、「骨と関節の日」関連行事活動予定アンケートの報告、「骨と関節の日」活動記録原稿等のご協力をお願い、について決定された。

・組織拡大の方法について

(1) 大阪府での取り組みの報告がなされた。

・大学ごとに専任の委員を決めて勧誘 ・労災や大阪府医師会の新規開業リストからリストを作成し勧誘する ・非会員で研修会によく参加されている先生を勧誘する

(2) 今後大阪方式を取り入れ、各県にリクルート委員会を設置し、都道府県ごとに情報を分析して今後の対策を考える。

13、令和2年度第3回総務委員会 11/18・T.V 邊見理事
・会報第26号の反省

・会報第27号は令和3年3月の発行を目指す

・ニュース第173号の反省

委員会報告での挨拶は掲載しない、発言者の氏名は掲載しない、年号は西暦ではなく元号を基本とする。JCOA 会員は名前の後に「先生」ではなく「会員」と記載する。

・ニュース第174号の進捗状況 11月末発行予定。

・JCOA 実施各種アンケートは要点をニュースに掲載し詳細な報告は会報に掲載。

・医師、日医会員、日整会会員、JCOA 会員の推移についての報告

平成 16 年と平成 30 年を比較すると医師数は 21%増加、整形外科診療所の数も 18%増加。日整会の会員数は 16%増加しているが JCOA 会員は 6.5%の増加しかない。

- ・リクルート委員会の設置について

1 4、OAO マラソン委員会報告事項 10/11・大阪 荻野理事

(1) 2020 年 10 月 11 日 (日) 大阪城トライアスロン 2020 が開催 (出務) 森 泰壽先生
参加者数 595 名+19 チーム、スイム中止のためバイアスロン

医療従事者の感染対策 ①救護スタッフ全員の PCR 検査実施と大会当日前後 2 週間体温測定および身体異常の有無をチェックシートに記載させる ②エリート選手には PCR 検査の義務 ③救護スタッフにはゴーグルを配布され、防護服(簡易の物)を準備
問題点①ほとんどの一般参加選手は当日の体温測定と身体状況の自己申告のみ

②大会が加入している保険では、新型コロナウイルスは補償対象にならない。万一発生した医師の健康被害に対して大会本部が独自で補償を行うと口頭での返事

(2) 次回大阪マラソンは、2021 年 12 月或いは 2022 年 2 月 (合併開催?) の 2 案。

1 5、令和 2 年度第 4 回一般社団法人日本臨床整形外科学会理事会 及び整形外科医政協議会執行委員会 10/18・WEB 貴島理事

【審議事項】

- ・新井貞男理事長の日本リハビリテーション医学会特任理事への就任について (新井)
- ・ロコモティブ・シンドローム予防啓発冊子の制作について、47 都道府県各支部独自の資料 (散歩コースや地元の食材等) として作成する (小野薬品)
- ・オンライン資格確認導入について (奥村)。
- ・役員選挙規則の変更について (二階堂)、書面若しくは電磁的方法による議決の内容の変更で、理事会で承諾され、総会にて決議されることとなった。
- ・緊急性のある JCOA アンケート調査を行う場合、執行部に諮りそのの是非を判断。

【各種報告事項】

- ・令和 3 年度介護報酬改定要望について (新井)
 - 1) 通所リハビリテーション入浴介助加算の見直し
 - 2) 介護予防支援費の引き上げ
 - 3) 小規模居宅事業所の処遇改善を厚労省老健局老人保健課に要望書を提出した。
- ・医業経営委員会 (10 月 11 日) が開催され、令和 4 年度診療報酬改定要望項目が決定。
- ・日本医師会学校保健委員会委員に新井貞男理事長が推薦された。
- ・日本医師会社会保険診療報酬検討委員会委員に田辺秀樹先生が推薦された。
- ・第 34 回 JCOA 学術集会 (新潟) について (木島) 進捗状況の報告

- 2021年9月19日（日）～20日（月・祝日）ANAクラウンプラザホテル新潟で開催。
- ・リハビリテーション総合実施計画書の変更について（田辺）
 - 新たに様式23を取り入れ作成された。今後、JCOA会員に広報していく予定である。
- ・JCOA コロナ自粛後の体調の変化に関するアンケート調査結果
 - （アフターコロナ／ロコモに関するアンケート結果第2次報告）（二階堂）

【日整会報告事項】

- ・第93回オンライン日整会学術総会における単位取得に関する問題点について
 - 教育研修講演での不正受講（早送りでの視聴、同時刻に重複視聴）の問題があり、個々にメールを送信し、対応にあたっていることが報告された。（原田）

16、OAOA テニス部活動報告 11/8・大阪 岸本（成）理事

第24回OAOA テニス部例会 江坂テニスガーデンインドアテニスコート 参加13名
 支出 施設料 57,684円 参加者より収入 6,500円 OAOAより支出50000円

17、令和2年度第4回医療システム委員会 11/11・T.V. 宮崎理事

【協議・検討事項】

- ・柔整師「整骨院ひまわり」の広告について、違法広告への対応
 - JCOA会員個別あるいは県単位で対応する。対応マニュアルは当委員会で作成。
- ・柔整小冊子Q&Aについて、イラストを使い簡略化を検討する。
- ・令和2年度医療システム委員会・日整会広報渉外委員会合同委員会
 - 協議検討事項案を呈示、資料として清水秀一氏「整骨院の横暴」を添付する。

【理事会・委員会報告事項】

- ・令和2年度第3回および第4回JCOA理事会議事録
 - ①会員へのアンケート実施について、理事長・副理事長の承諾があれば行ってよい。
 - ②リハビリテーション総合実施計画書変更、厚労省の承認は得られている。
 - ③NHKへの意見書 ニュースウォッチ9 コロナでの運動不足による問題。
 - 柔整師による対応が必要であると誤認される恐れのある内容では、と意見した。
- ・介護予防活動と鍼灸 介護予防の場に鍼灸師の団体が協力を申し出てきた。
 - 鍼灸を拒否するのは厳しいのではないかというのが現実である。
- ・柔整受領委任の中止について、あはきについては全国の医師国保は受領委任を受け入れていない。ただし大都市部は受け入れている。
- ・清水氏の「接骨院の横暴」について柔整の会計の不透明さに言及、購読を勧める。
- ・「マンガでわかる接骨院整骨院」内容は業界に都合の良い表現となっている

18、令和2年度第2回学会雑誌編集委員会 11/20・T.V 宮島理事

【決議事項】

1. JCOA 査読委員会が本委員会に移管されたことに伴い、査読委員会内規を改訂する
2. 査読の際のチェックシートの改訂
3. 日臨整誌投稿規程について「文献の記載の手引き」の中で、文中の引用順に改訂。
4. 査読委員会の開催について 査読委員会の運営と同義であるとし、問題が生じなければ今後も本委員会内で開催（運営）することとした。
5. 雑誌第116号の個人情報誤掲載について、第117号に謝罪文を掲載することとした。
6. 雑誌第117号掲載予定論文内容、発刊（令和3年2月末を目途）について

【報告事項】 JCOA 会報掲載記事の日臨整誌への投稿については二重投稿には該当せず。

19、リクルート委員会 片岡理事

令和2年9月以降、新入会者1名が加わった（令和2年1月～12月の新入会13名）

20、広報委員会 調子理事

大阪臨床整形外科医会会報47号の内容について

なにわの先達 未定で執筆者推薦依頼（45号は多田浩一先生、46号は脇谷滋之先生）

追悼文 堀木篤先生追悼文を、早石雅宥先生に依頼

第33回JCOA学会

JCOA活動報告 1. 令和2年度大阪臨床整形外科医会療法士会報告

2. 大阪城トリアスロン2020大会救護班（10月11日）

- ・会員投稿にコロナウイルス感染症に関連した原稿を依頼。多方面な内容で募集する。
- ・研修会座長より講師への研修会報告原稿の依頼、お願いの件

21、地域情報委員会 調子理事

－後期高齢者医療制度の健康診査におけるフレイル健診に関して－

- ・令和2年度から後期高齢者医療健康診査においてフレイル状態の質問票が追加された。広域連合が一体的実施等の保健事業を市町村に委託されることになっている。
- ・フレイルには、身体、精神、社会の3つがあるが、身体に絞って進める方針である。
- ・ロコモフレイルの啓発とロコトレの普及を通して、整形外科医が市町村のフレイル対策に係わっていく必要があると考えられ、会員への協力依頼を行う予定である。
- ・府医ではロコモ実技研修会を2/17、2/25に行う予定。

- ・ロコトレポイントを記載したパンフレットとロコトレ教室動画を作成し HP に掲載。
- ・(課題) 整形外科医への関心の啓発 ・ロコトレと介護保険の融合

2 2、運動器の健康日本賞

藤本副会長

上記の応募について、継続審議となった。

2 3、令和 2 年度研修会収入

木下副会長

資料の通り、報告された。

2 4、研修会実施報告

堀口副会長

第 1 回 WEB 研修会、第 333～335 回研修会、について報告された。

- ・第 333 回でウェブのトラブルあり、単位申請のために後日再度 WEB 講演を行った。
- ・第 335 回にリウマチ財団単位がないのは、共催メーカーが協賛企業でないため。
- ・参加人数はログインした人数とする。

2 5、その他

長谷川会長

運動器検診アンケートについての報告依頼が貴島理事よりあった。

この議事録は、

定款第 40 条の規定に従い、代表理事及び出席監事が記名、押印する。

令和 2 年 12 月 5 日

一般社団法人大阪臨床整形外科医会

議長 会長 長谷川 利雄



監事 黒田 晃司



監事 栗本 一孝

